

ミズベリング構想検討会議概要

⑤第3回イルミネーション検討会議

平成27年10月22日（木） 午後1時30～ 委員10名出席

副市長あいさつでは、誘客拠点施設については議会で否決されたが、ミズベリング構想はNTT用地の活用をはじめ、イルミネーションや川床などの魅力作りもテーマになっているので積極的に進めて行きたい。

今回は、平成28年1月の石和温泉駅のオープンを記念したイルミネーション実施に向け具体的にどのようなやり方をしていけばよいのかご意見を頂きたい旨の挨拶がありました。

議事では、事務局が先進地事例を説明したのち、予算についての話があり、桜温泉どおり800万・駅前どおり300万くらいでイルミネーション設置を考えている。期間は1月下旬から2月中で設置したいとの提案がありました。

委員からは、近津用水の川面を流れるイメージはどうか、行灯など癒されるものはどうか、音楽と光の融合、イベントとイルミネーションを絡めての設置等の意見がありました。

その他、駐車場についてはどう考えているのか？・時間帯についても冬花火との連動が必要ではないか？・周辺を歩けるような工夫も必要だが近津用水沿いは生活道路であるため周辺の通行止めは厳しいのではないか？・周辺の飲食店に誘導出来るような工夫も必要ではないか？などの意見が出されました。

最後に、10月より地域おこし企業人として笛吹市に派遣されている、クラブツーリズム石井さんより意見をいただきました。イルミネーションは幅広い年代に有効なコンテンツであるが、最近は3Dマッピングなど変化を求める傾向にある。キーワードは参画・変化・話題性との意見をいただきました。

また、管理運営方法については実行委員会型式が良いのではないかと意見で集約され閉会しました。



